



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 京成電鉄株式会社

コード番号 9009 URL <http://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三枝 紀生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長

(氏名) 田口 正樹

TEL 03-3621-2285

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	177,115	4.4	18,326	18.7	25,805	45.7	19,318	78.9
24年3月期第3四半期	169,583	△4.5	15,442	△6.7	17,713	△13.5	10,799	△22.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 20,540百万円 (92.8%) 24年3月期第3四半期 10,652百万円 (△23.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	57.07	—
24年3月期第3四半期	31.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	723,421	209,919	28.5
24年3月期	725,072	191,148	26.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 206,455百万円 24年3月期 188,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,200	6.5	21,200	6.4	27,700	24.5	18,400	36.6	54.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5(「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」)に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	344,822,371 株	24年3月期	344,822,371 株
25年3月期3Q	6,297,534 株	24年3月期	6,299,625 株
25年3月期3Q	338,523,213 株	24年3月期3Q	338,535,152 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P8
(4) セグメント情報等	P8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P8
4. 補足情報	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、円高の長期化、電力供給の制約に加え、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、東日本大震災の反動もあり、全事業営業収益は1,771億1千5百万円（前年同期比4.4%増）となり、全事業営業利益は183億2千6百万円（前年同期比18.7%増）となりました。経常利益は、持分法投資利益の増加等により258億5百万円（前年同期比45.7%増）となり、四半期純利益は193億1千8百万円（前年同期比78.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋等の耐震補強工事及びデジタルATS設置工事等を実施したほか、大規模工事については、墨田区内において押上線連続立体化工事を推進いたしました。

営業面では、昨年10月にダイヤ改正を行い、スカイライナーの早朝便を新設するとともに、アクセス特急の所要時間を短縮するなど、成田空港アクセスの強化を図りました。また、スカイライナー券を全国の「ファミリーマート」店舗で購入できるサービスを開始したほか、スカイライナー及び各駅に公衆無線LANサービスを導入するなど、利便性の向上を図りました。このほか、運行開始100周年を記念した列車の運行等に加え、企画乗車券の販売や各種営業施策を実施いたしました。

バス事業では、東京スカイツリーの開業に伴い、墨田区内循環バス等路線の新設及び変更を実施いたしました。このほか、一般乗合バス路線においては、成田市内で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、格安航空会社（LCC）の就航等に対応した路線を新設するとともに、東京駅～千葉市ベイエリア方面等の運行を開始いたしました。

タクシー事業では、無線業務の統合・集約化計画を進めるなど、利便性向上と効率化を図りました。

以上の結果、営業収益は989億7千2百万円（前年同期比4.8%増）となり、営業利益は148億4千8百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

<流通業>

百貨店業では、各種イベントを開催したほか、売場の一部リニューアルを行うなど、販売の強化に努めました。

ストア業では、リブレ京成青砥駅前店及び幕張本郷店をリニューアルオープンしたほか、コンビニエンスストアにおいては、新店効果に加え、各種営業施策の実施により堅調に推移いたしました。

以上の結果、営業収益は541億8千9百万円（前年同期比0.6%増）となりましたが、営業利益は8億1千万円（前年同期比13.8%減）となりました。

<不動産業>

不動産販売業では、「サングランデ公津の杜グレイス」及び「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や「グランデカーサ公津の杜」等の戸建住宅のほか、成田市公津の杜の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、船橋市本町において高架下商業施設等が稼働したほか、今年度中の竣工に向け、京成船橋駅及び八広駅に近接する賃貸住宅等の建設を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は123億7百万円（前年同期比12.3%増）となりましたが、営業利益は20億3千9百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

<レジャー・サービス業>

ホテル業では、京成ホテルミラマーレにおいて、開業10周年を記念した各種イベントを実施するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

以上の結果、営業収益は77億6千4百万円（前年同期比0.1%増）となり、営業利益は前年同期と比べ改善し3億4千1百万円となりました。

<建設業>

建設業では、バス車庫や分譲マンションの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。

以上の結果、営業収益は121億2千1百万円（前年同期比10.6%増）となりましたが、営業利益は9千万円（前年同期比53.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は前期末比16億5千1百万円(0.2%)減の7,234億2千1百万円となりました。これは、持分法適用会社株式の増加等により「投資有価証券」が91億4百万円増加しましたが、減価償却等により有形固定資産が58億1千5百万円減少したこと、「分譲土地建物」の減少等により流動資産が35億4千9百万円減少したことによるものです。

負債合計は前期末比204億2千2百万円(3.8%)減の5,135億1百万円となりました。これは、社債が160億5千万円、「支払手形及び買掛金」が56億6千2百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末比187億7千1百万円(9.8%)増の2,099億1千9百万円となりました。これは、四半期純利益193億1千8百万円の計上等により「利益剰余金」が176億1百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成24年10月31日に発表しました数値と変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,561	24,852
受取手形及び売掛金	16,158	14,814
分譲土地建物	19,241	17,406
商品	2,255	2,526
仕掛品	627	2,293
原材料及び貯蔵品	1,780	1,924
繰延税金資産	2,236	1,268
その他	16,006	16,228
貸倒引当金	△65	△60
流動資産合計	84,803	81,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	266,303	261,193
機械装置及び運搬具(純額)	18,253	17,341
土地	139,821	139,898
リース資産(純額)	31,633	30,443
建設仮勘定	38,456	39,932
その他(純額)	1,761	1,603
有形固定資産合計	496,229	490,413
無形固定資産		
リース資産	2,234	2,042
その他	9,565	8,969
無形固定資産合計	11,800	11,011
投資その他の資産		
投資有価証券	112,085	121,190
長期貸付金	500	455
繰延税金資産	14,563	14,148
その他	5,822	5,713
貸倒引当金	△911	△910
投資その他の資産合計	132,060	140,597
固定資産合計	640,090	642,023
繰延資産	177	143
資産合計	725,072	723,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,915	12,252
短期借入金	68,411	77,054
1年内償還予定の社債	16,050	10,000
リース債務	2,856	2,988
未払法人税等	2,674	2,753
前受金	32,558	40,834
賞与引当金	2,814	1,252
役員賞与引当金	69	46
その他	26,158	21,865
流動負債合計	169,509	169,049
固定負債		
社債	75,000	65,000
長期借入金	155,113	148,492
鉄道・運輸機構長期未払金	68,751	67,463
リース債務	20,147	18,891
繰延税金負債	1,926	1,973
退職給付引当金	31,519	31,232
役員退職慰労引当金	561	566
負ののれん	873	593
その他	10,521	10,239
固定負債合計	364,414	344,451
負債合計	533,924	513,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	124,502	142,104
自己株式	△2,029	△2,027
株主資本合計	187,762	205,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	684	1,151
繰延ヘッジ損益	△148	△61
その他の包括利益累計額合計	536	1,089
少数株主持分	2,848	3,464
純資産合計	191,148	209,919
負債純資産合計	725,072	723,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	169,583	177,115
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	127,842	132,806
販売費及び一般管理費	26,299	25,982
営業費合計	154,141	158,788
営業利益	15,442	18,326
営業外収益		
受取利息	224	200
受取配当金	243	160
持分法による投資利益	6,053	10,647
雑収入	1,242	1,272
営業外収益合計	7,763	12,281
営業外費用		
支払利息	4,976	4,428
雑支出	515	374
営業外費用合計	5,492	4,803
経常利益	17,713	25,805
特別利益		
工事負担金等受入額	875	367
受取保険金	—	601
その他	246	315
特別利益合計	1,121	1,284
特別損失		
固定資産圧縮損	793	295
減損損失	—	337
その他	535	168
特別損失合計	1,329	801
税金等調整前四半期純利益	17,505	26,288
法人税、住民税及び事業税	3,539	4,948
法人税等調整額	3,036	1,350
法人税等合計	6,576	6,298
少数株主損益調整前四半期純利益	10,929	19,989
少数株主利益	129	670
四半期純利益	10,799	19,318

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,929	19,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	345
持分法適用会社に対する持分相当額	△163	205
その他の包括利益合計	△276	551
四半期包括利益	10,652	20,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,524	19,871
少数株主に係る四半期包括利益	127	669

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	93,766	53,527	7,078	6,264	6,644	2,303	169,583	—	169,583
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	675	338	3,879	1,490	4,319	1,130	11,834	△11,834	—
計	94,442	53,866	10,957	7,754	10,964	3,433	181,418	△11,834	169,583
セグメント利益 又は損失(△)	11,574	940	2,773	△38	195	189	15,634	△191	15,442

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	98,318	53,846	8,518	6,143	8,184	2,104	177,115	—	177,115
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	654	343	3,789	1,620	3,936	1,017	11,361	△11,361	—
計	98,972	54,189	12,307	7,764	12,121	3,121	188,477	△11,361	177,115
セグメント利益	14,848	810	2,039	341	90	65	18,196	130	18,326

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

区 分	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	%
定 期	115,760	114,667	1.0
定 期 外	81,278	77,895	4.3
(うち 有料特急)	(3,048)	(2,526)	(20.7)
計	197,038	192,562	2.3
旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	%
定 期	14,592	14,548	0.3
定 期 外	26,279	24,110	9.0
(うち 有料特急)	(2,901)	(2,409)	(20.4)
計	40,871	38,658	5.7

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。
旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。